

和田武先生の研究業績の紹介

山口 歩*

先生の業績を概略で3点述べさせていただきます。先生は地球環境問題の深刻さを認めて、対策が緊急に必要であることを、極めて早い時期から主張されてきました。今でこそ常識的といえるその問題に関し、10年前、20年前、多数の科学者達は出遅れておりました。気象、天候の問題がどうかについての解明は難しく、不確かさが付きまとうということが「出遅れ」の原因の一つといえます。和田先生はこうした状況を建て直し、フロントマンとして重要な役割を果たされてきたと思っています。

そういう「状況の告知」と、もう一つ重要なのは問題の深刻さが見えてきた中で、「これをどう明るく解決させていくか」という道を提示されたことが、大事な仕事であったと思います。特に若い方々に問題の深刻さをどう伝えていくかは難しい問題です。ともすると閉塞的な状況対策を放棄する考えも生まれがちです。こうした中で私達に進むべき具体的方策を提示されたことが重要な仕事であったと思います。

3点目は、風力、バイオなど、再生可能エネルギー普及による克服の道を示すだけでなく、ご自身が運動の活動自体に入りこまれて、国際的な人的ネットワークを形成されたことです。その中で現実的な知見を吸収され、研究・教育にフィードバックされたことは我々研究者にとって力になったと思います。後の世代の研究者が狭く問題をとらえようとする中で、多面的に事態を判断し、状況に応じて対策は違った形で打てるのだということを教えていただきました。私は一世代若いのですが、和田先生のバイタリティ、活動の広さ、深さ、パワーにはかないません。私などより活動され、意義のある方が退職されるのはおかしな話でありまして、これからも前線に立ってご活躍されることを期待しております。そういう意味で、来年以降も皆さんの前で講義や研究に携わっていかれると思いますが、院生を中心に皆さんとのネットワークをつくっていかれたらいいかと思っています。

それでは和田先生ご自身の研究と合わせて「我々にどんな未来を」というところをお話いただけるかと期待しています。よろしくお願いします。

* 立命館大学産業社会学部教授